めじろ
mejiro news

目白小学校 校舎建替え

『考える会』が構想提言書をまとめる

目白小学校の校舎は昭和35年に建てられました。今年で築後50年を経過していることになります。

さらに現在は児童数で550人を超える区内でも大規模な学校となり、校舎の年数も規模も限界にきていることから、平成24年25年の2年間で校舎の全面建替えを行う予定となっています。

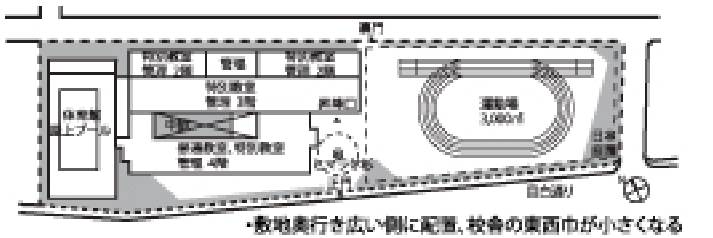
豊島区では今年度、その校舎の基本構想と基本設計を策定するのですが、区に先だち、地域の実情と要望を考慮した計画になるように、と目白小保護者、地域の代表、区、教育委員会で構成された「目白小の建替え等を考える会」が平成20年12月から約1年半検討会議を重ねてきました。このたび3月に、学校見学会やワークショップ、アンケート調査などにも取り組んで検討した意見を、「建替え提言書」として区長に提出しました。

提言書では、建替えのコンセプトを「智が遊ぶ杜　光あふれる健やかな目白小」としています。これは学校周辺の目白通りの並木、学習院の大学林、目白小のシンボルであるヒマラヤスギなど緑豊かな環境の中で木漏れ日や吹き抜ける風を感じ、まるで森の中を子どもたちの知性が遊んでいるような楽しく美しい空間とともに、地域に開かれた学校づくりをめざすことが盛り込まれています。

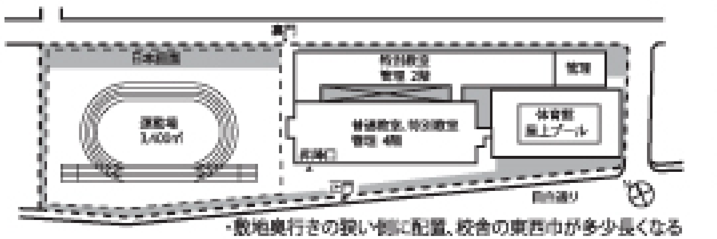
具体的には、現在の校舎が東西に細長く、運動場の面積が狭いことを改善し、北側の日影に配慮しながらも校舎面積を増やすなどの課題を充たすものとして、校舎の①西側配置4階案②東側配置案③西側5階案④南北スリット型配置案⑤囲い型配置案など5つの案を比較検討しています。

また、狭い敷地ながらも、緑に包まれた環境、日本庭園の継承、屋上の最大利用の実現が求められています。

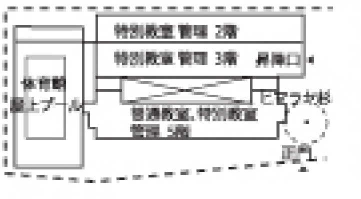
この提言書は豊島区のHPにpdf版があります。



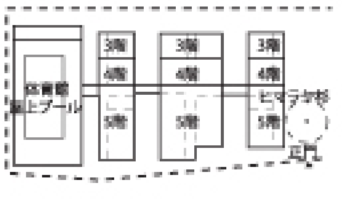
①西側配置案
・敷地奥行き広い側に配置、校舎の東西巾が小さくなる
・敷地長手広く建物がなく、北側に対し開放できる
・ヒマラヤ杉の存置は可能



②東側配置案
・敷地奥行きの狭い側に配置、校舎の東西巾が多少長くなる
・敷地の長手広く建物がなく、北側に開放できる
・運動場が広くなる　・ヒマラヤ杉の存置は困難



③西側5階案
・5階床面の分、校舎東西巾を縮められる
・その分運動場が広くなる



④南北スリット型配置案
・目白通りの騒音の影響が小さい
・独立(分節)した空間作りに適する

考える会会長インタビュー

小嶋雄嗣・考える会会長（元PTA会長）は、次のように語っています。

目白小では、生徒、教員、保護者、皆とても熱心で、新しいことにも積極的に取り組んでいます。そうした良い点が生きる教育の場が実現することを願っています。独自の教育理念が分かる、見てくれでない本質的実際的な意味で斬新な学校を目指し、討論を重ねました。メンバーの考えには大きなぶれはなく、目白小が良い学校として地域から愛され、地域をまとめる核であって欲しいとの思いで一致していたことが印象的でした。

目白小学校　沿道ギャラリー
目白2丁目
生活軸・コミュニティ道路化のイメージ

*

地域に開かれ、まちとつながる

目白小の北側沿道は、背後の目白2丁目住宅地にとって表の道筋であり、重要な通学路です。校舎の裏手として扱われている現状を変え、表の顔をつくることが望まれています。併せ、この建替えを機会に、2丁目の生活軸とも言える道筋のコミュニティ道路化が目白東町会大黒町会長（考える会副会長）から区長へ提案されました。

（裏面関連記事参照）

目白のまちからのニュース

『目白駅前で田植え』

5月18日目白駅美化同好会（菅野之久会長）恒例の田植えが目白駅前「四季の広場」で行われた。目白幼稚園園児十数名が初めての田植えを体験、園長先生はじめ引率の先生、JR目白の山科駅長さんはじめ、多くの駅員の皆さんにもお手伝いを頂きました。目白幼稚園にも同じ苗が植えられています。

目白駅の田植えは昭和40年ごろから、目白駅ホームで始まりました。他にも花壇には一年を通し花が植えられ、案山子のコンクールも行われていました。

園児のみなさんが植えた稲が秋の刈り取りまで無事に育ってくれるように、皆さまには見守って頂きますようお願いいたします。

目白新聞
発行：目白新聞発行委員会
住所：〒170-0031
東京都豊島区目白3-1-24
メールアドレス：
meji-1@mail.goo.ne.jp
次号は9月発行予定
題字：社団法人 創玄書道会
加藤有鄰

和菓子 ①
志むら

ご協力
目白駅美化同好会
会長　菅野之久
目白銀座商店会
会長　湯峰　昇
目白まちづくり倶楽部
代表　柴田知彦

駅長日記

今年も目白駅美化同好会の恒例行事である、目白ミニ田んぼの田植えを計画し打ち合わせを行ってきましたが、毎年、駅の社員が準備していた苗が調達出来なくなり、今回は同好会の皆さんにお骨折りで「はえぬき」というブランド種の苗を調達して頂き、去る5月18日に目白幼稚園の園児のみなさん12名をお招きして、無事に田植えをして頂くことが出来ました。

昨年植えた稲は害虫に犯され、早々に刈り取るという残念な結果に終わってしまいましたから、今年は何とか秋の刈り取りを園児のみなさんと行えるように駅の社員が日々手入れを行っています。今年は冷夏になると言う報道もされていて少し心配をしているところですが、それ以上に心配していることがあります。

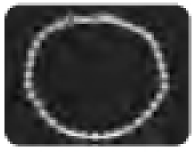
毎朝、プランターの稲の状態を見ると必ずタバコの吸殻、ティッシュ、ガム等が入っている状態を目にして非常に残念な思いをしています。毎年のことですが、タバコの吸殻はもとより飲みかけの缶コーヒーやジュースの投げ込みがあり一時大量の蟻がたかっていたことを思い出しました。

駅という多くの人たちが集まるところで稲を育てるのは、環境的にも大変難しいことだと思いますが、今年の秋には黄金色の穂に実がついているところを地域のみなさんに見ていただけるように、そして目白幼稚園の園児の皆さんに稲刈り体験をしてもらえるように、駅の社員も業務の合間に手入れをして参りますのでご協力をお願いいたします。

（JR目白駅長）

クイズ

懸賞クイズ　懸賞品
5名様にプレゼント



SVクリスタルライン
ブレスレット
提供：アンヴェール

目白駅で田植えをしました。
田植えをしたのは
□□□□□の園児
秋の刈り取りまでみんなで見守りましょう！

クイズの答え
□□□□□の園児
住所　TEL
氏名　男女
年齢（○才代と明記して下さい）
興味を持った記事　2つ
その他（御意見・御要望等）

左記記載事項をご記入の上、ハガキ又はメールにて7月15日（当日消印有効）迄にご応募下さい。当選者の発表は次号に掲載致します。

携帯電話からはQRコードを読み込んで下さい。（メール）

宛先　目白新聞事務局
〒171-0031 東京都豊島区目白3-1-24
メールアドレス meji-1@mail.goo.ne.jp

前回の当選者
松田恵子さん　杵 由紀子さん　保科ヒロ子さん
伊藤五郎さん　池田千加子さん

個人情報につきましては、懸賞クイズの発表以外使用いたしません。

お店探訪

炭火焼と地焼酎 心尽串（こころづくし）

常時120種類もの本格焼酎がずらりと揃うこだわりのお店

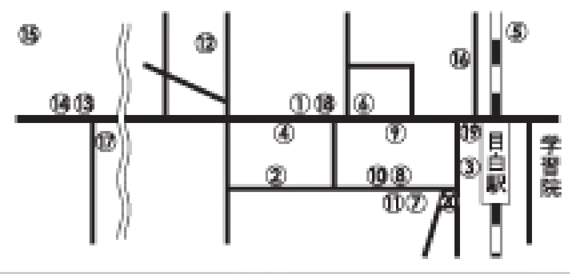
『妥協はせずに心を尽くす』。本格焼酎と炭火焼がメインだがお刺身、唐揚、豚の角煮なども提供する和食料理のお店。目白駅すぐの店内に入ると古き良き日本を感じられる空間が広がる。

焼鳥は大山地鶏を備長炭で焼く本格派。また焼酎の品揃えは通にはたまらないほど。幻といわれる銘柄はもちろん、20年ものの古酒などが揃うので「裏メニュー」目当ての常連も多いとか。

料理が焼酎を美味しくし、さらに焼酎が料理の味を引き立てているのを実感できるはずだ。

■営業時間■
17:00～24:00
■定休日■
日曜日

焼酎アドバイザーの店主が自信を持って薦める焼酎は芋焼酎70種、黒糖焼酎20種、泡盛10種、麦焼酎10種、米・蕎麦・胡麻・その他10余種。「森伊蔵」「村尾」「魔王」などプレミアムものも。



練習生募集中　世界一のチャンピオンメーカー ⑤
ヨネクラボクシングジム
03-3971-0181

④ RICHMOND FITNESS CLUB
リッチモンド フィットネス クラブ
東京都豊島区目白3-5-14
03-3565-4121
URL
http://www.richmond-fit.com

③ 心尽串
120種の焼酎と炭焼がうまい
tel/fax
03-3952-4989

「金子鴎亭記念ギャラリー」のご案内 ②
現代書道の父といわれる、金子鴎亭先生の作品を展示しております。
書道に関する図書閲覧室や復元書跡もご覧になれます。
開館日＝毎週金曜日(祝・祭日を除く)
午後1時～午後4時　入場料 300円
金子鴎亭記念「創玄会館」3階
（目白3-5-5 リッチモンドホテル裏通りの並び）
お問い合わせは　社団法人創玄書道会
Tel. 03-3953-8349

ダイヤモンド輸入卸 宝飾品小売販売 ⑫
ジュエリーショップ
アンヴェール
TEL 03-3950-7117

⑪ 正統派料理
Le Bistrot Ami
ビストロ・アミ
TEL 5982-9560
ランチ
11:30～14:00（LO13:30）
定休日　日・祝日
ディナー
17:30～AM2:00（無休）
姉妹店（東仏食堂料理）
ビストロ　NO・MI・NO亭

⑩ SEIBU
西武写真印刷
オフセット印刷／オンデマンド印刷／カラーコピー・大判サイズコピー／DTP編集／電子出版／インターネット関連業務 他
TEL 03-3953-2778
FAX 03-3950-1452
URL http://www.i-seibu.co.jp/

⑨ 上海風中国料理
揚子江
目白店
3952-4121

⑧ 自然素材を厳選し、デザインを融合する住まい・ショップを創造します。
Design Office
with・one
株式会社ウィズ・ワン
TEL.03-5988-2920
URL:http://www.with1.co.jp

⑦ 目白動物病院
TEL 03-3953-0669
■診察時間
AM9：30～PM6：00
■休診日　日曜・祭日

創業 昭和23年 ⑥
首都開発株式会社
03-6915-3362
アパート・マンション・土地・建物・管理
お気軽にご相談ください。

目白人インタビュー

目白駅前で喫茶店を経営されている上山眞理子さんに目白の街の印象、お仕事について伺いました。

目白の町に感じることは優しさです。

私が、目白駅近くの喫茶店に嫁いで来たのは11年前。必然的に、お店を手伝うようになりました。初めてのサービス業に戸惑うことばかり。お水を出すのを忘れたり、オーダーを間違えたり…。お客様のカバンに、コーヒーをこぼしてしまった時はうろたえてしまい、ただただ平謝りするしかありませんでした。気持ちがすっかり落ち込んでしまいました。でも、そのお客様がまたお店に来て下さった時は、涙が出るほど嬉しかった。それは、私にとって大切な思い出です。

昨年、35年間お店をやってきた母を亡くしました。とても大変な時期でしたが、回りの方々や、お客様に、幾度となく励ましの言葉をかけていただきました。その時、『ああ、私はこうやって色々な方に支えられているんだな…。』と実感しました。目白に住んで11年、たくさんの出会いと別れがありました。これからも、一つ一つの出会いを大切にしていきたいと思います。そして、優しさと感謝の気持ちを持って、この町で暮らしていけたら本当に幸せです。

目白の昔話し

目白に大きなお寺があったこと（感応寺）下

庶民の行楽新名所として「祖師参り」の参詣者があふれ、茶屋三軒も営業していたと言われるほどの賑わいで、「肝つぶさるるばかり」と評せられたほどの感応寺でしたが、寺の建立が当時の十一代将軍家斉の側近の中野播磨守（石翁）と、その養女として大奥に仕え、家斉の側室となったお美代の方の実父と言われる日啓とが画策して家斉を動かしたからだといわれています。彼らの日蓮宗への信仰を利用した本門寺の政治的行動が奏功したのです。私的といえども将軍の祈祷所という公儀的性格のゆえに、幕府は普請費用の調達に積極的に肩入れし、本門寺の寄付を認め、しかも、各地域の公的機関が取り集め、寺社奉行がまとめて本門寺に届けるという便宜をはかっていました。

廃寺もまた突然でした。天保十二年家斉の死後、寺社奉行所から感応寺の朱印地を没収し、廃寺する旨が通知されることになります。本堂が建立されて4年ばかりで取壊されて、感応寺の歴史が閉じることになりました。その通告の前日夜、茶店に役人が現れ、「二日の間に出るよう」指示されたのは商人たちにとっては、「夢現のさかひを知らぬ」ほどの仰天すべき出来事だったことでしょう。老中職に就いた水野忠邦は、家斉時代の乱脈な政情を改革（天保の改革）しようと意図したものでした。この現れが感応寺廃寺となったのでしょう。建物はあっという間に解体され、土地は収公され、実質五年で幻の存在になってしまいました。それほどに感応寺の破却が急がれたのですから、江戸市中にいろいろな噂がばらまかれたようです。

その場所はどこだったのかについては前号で示しましたが、感応寺以外、このあたりにはお寺がありませんでした。この感応寺が続いていたら、目白の様子もずいぶんと違ったものになっていたでしょう。

また、このようにあっという間に解体されてた感応寺の痕跡はどこにも、なんにも見当たらないのでしょうか。鎌倉市にある日蓮宗本山・長興山妙本寺の祖師堂内のお厨子は、鼠山感応寺から妙本寺に移したと言われています。また、その他の用材も妙本寺で保管していましたが、総本山である身延山久遠寺が火災で被害を受け、その再興の際に棲神閣祖師堂を明治14年に建立したが、一部用材を使用したといわれております。

『目白地域資源とまちづくり』（目白街づくり倶楽部作成）より

【参考】
http://www.kcn-et.org/senior/tsushin/temple/y04/0407aka/index.html
鎌倉のお寺さん（26）
長興山妙本寺より

目白の森セミナー
「赤い鳥」と
目白の児童文学者たち
7月18日（日）
午前10時30分～12時00分
目白図書館 地下1階 会議室にて
主催 目白まちづくり倶楽部
後援 目白新聞発行委員会
お申し込はメールにて
meji-1@mail.goo.ne.jp

報告その4 全目白が参加 区長提言

沿道を安全で魅力ある生活空間へ

目白古道（仮）＋二丁目生活軸コミュニティ道路化の提案

全目白の町会と目白まちづくり倶楽部

昨年度より進めていた「目白古道（仮）コミュニティ道路化の研究」に二丁目生活軸が加わり、明治通りから山手通りまで2km、目白の全住宅地を貫通する区道のコミュニティ道路化と沿道・周辺地区の景観まちづくりを目指すことになった。

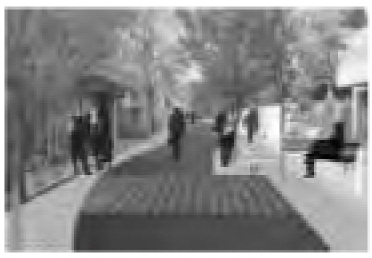
2kmが歩車共存の生活空間に

目白小の建て替えを二年後に控え、小学校背後の道路を通学路・生活道路として安全と魅力ある景観を目指し整備しようとの希望が生まれている。仮に2丁目生活軸と呼ぼう。一方、目白古道（仮）も通学路としての安全確保は大きな課題だ。目白小の仮校舎が旧真和中となるからだ。いずれも通り抜け車両と歩行者の問題は、待ったなしの状況と言える。（本紙2号参照）

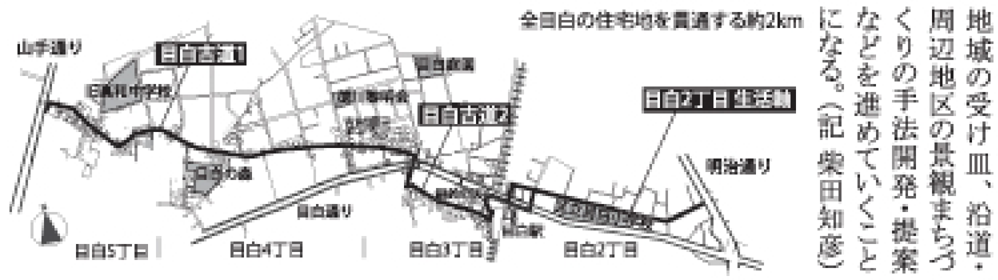
4月26日目白の6町会長とまちづくり倶楽部は共同で高野豊島区長と意見交換の機会を得て、研究成果の報告と共に、沿道2kmのコミュニティ道路化を提言した。区長からは、今後の協力と来年度の具体的取り組みが表明され、コミュニティ道路化は大きく前進した。

これからの取り組み

目白まちづくり倶楽部は、国の支援を受けられるよう「まちづくり担い手事業」に区の推薦を受け応募した。6町会や地域グループと共に事業化へ向けて地域の受け皿、沿道・周辺地区の景観まちづくりの手法開発・提案などを進めていくことになる。（記 柴田知彦）



歩車共存のイメージ図



目白に絵描きがすみはじめたころ

その1 目白のはじまり

本田晴彦

明治18年3月1日、生糸輸出のため、北関東から横浜港までの短絡線として赤羽から品川までの鉄路、日本鉄道品川線が開業した。駅は赤羽、板橋、新宿、渋谷、品川であり、すべて街道との交差地におかれた。そして、その半月後の3月16日、付近の高田村の請願もあって目白駅が開業するのである。

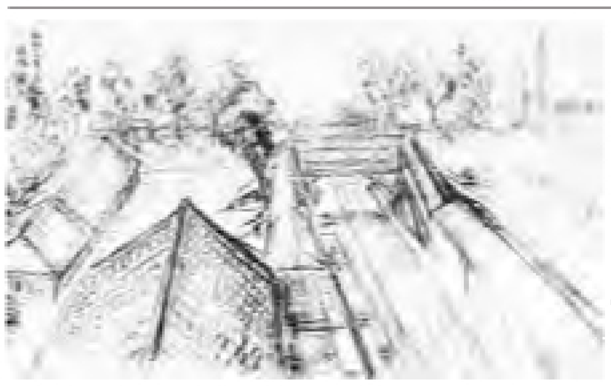
目白という駅名は、目白不動からつけられた、ということになっている。いまでこそ目白不動は千登世橋のそばに移動し少しは目白駅に近くなったものの、当時は江戸川橋のたもとにあり、駅までは三キロメートルちかくもある不動尊の名前をなぜ駅名にしたのだろうか。

その答えは、同じ日に目黒駅が開業していることにヒントがあるように思える。目黒不動とあわせて名所を仕立てて駅名を周知しようとしたのではないのだろうか。あるいは、高田でも落合でもない名称であるからこそ命名されたことも考えられる。

このように目白駅は開業するが、「目白」という名称はどのようにして敷衍されていったのであろうか。

清戸通りとよばれていた目白通りは駅ができると「目白駅前通り」とよばれた。当時の東京郊外に駅ができ、「その駅に向かうみち」ということで、目白駅の西側では自然にそのようによばれたのであろう。

また、当時の地図をながめると実に広範囲に「目白」を冠する商店、教会、学校、住宅などがある。目白中学校、目白福音教会、目白文化村などは、中でもよく知られている。目白警察はこの頃は高田警察とよばれていた。



解説「大正初期の目白駅舎（仮称）」
（作者不詳1945年）

目白駅の南側から描かれており、西側に駅舎がある。駅前広場があり人力車何台か客待ちをしている。また、跨線橋と目白橋の間に踏み切りがみえる。

目白Q&A

Q 目白駅美化同好会とはどのような集まり？

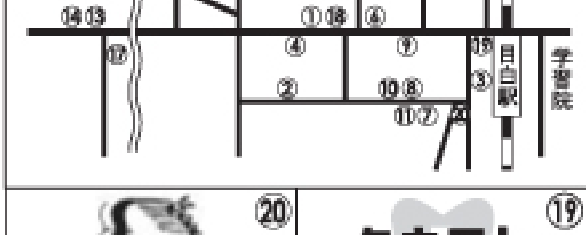
A 目白駅美化同好会は、昭和38年にさかのぼります。目白の住民であります徳川家（尾張）の当時の当主でありました徳川義親（よしちか）さんが、目白のみなさんで目白をより美しくより楽しくしてもらえるように目白駅を利用する近隣の皆さんに呼びかけて発足しました。

「目白駅は私たちの玄関口です。また互いのなつかしいこころの故郷でもあります。

皆さんのふるさと目白（駅）を大切にしたい気持ちで、駅に花を植え、壁には美術作品を飾り、楽しいひとときを分かちあいましょう。」

の言葉で地域の皆さんに呼びかけ活動が始まりました。現在の会長さんは目白山柴町にお住まいの菅野之久さんです。

目白新聞の題字
目白新聞の「めじろ」
この度創玄書道会の
ご協力を頂きました。



⑮ Gattaiola dolci
ガッタイオーラ ドルチ

⑭ セレクトショップ
Amabilita アマビリータ
新宿区下落合3-21-5
TEL 03-5988-7233
営業時間 10:00～19:00
年中無休

⑬ TAPPA di Al·Cione
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-21-6
岡崎第2ビル1F
tel & fax 03-5982-0688
18:00～22:30L.O.（日休）

⑳ Café de Daphné
カフェ・ド・ダフネ
LUNCHサービス ¥780
10:00～20:00
定休日 日祝日
03-3950-9712

⑲ クキモトデンタルクリニック
豊島区目白3-3-1-5F
TEL：03-5996-0336
休診日：日曜・祝日
URL http://www.kukimoto.jp

⑱ Ballerina
バレエ用品の
バレリーナ目白店
〒171-0031 豊島区目白3-13-1
T.Nビル3F, 4F
AM10:00～PM7:00
03-3952-3388

⑰ ID labo
ニットの企画・生産のアドバイス
有限会社 アイディ ラボ
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-16-10
TEL 03-3951-0159

⑯ 創作料理
なごみ
営業時間 18:00～24:00
定休 日曜・祝祭日
TEL 03-3565-0758

第1回 目白新聞杯ゴルフコンペ

参加者大募集

開催日：平成22年8月1日（日曜日）
場所：サンコー72カントリークラブ
費用：概算 20,000円
（コース精算 16,000円
（1Rセルフ・昼食・バス代・パーティー代込）
参加費 4,000円（前納でお願いします））
競技方法：新ペリア方式
後援：目白商業協同組合
目白銀座商店会 他多数
※朝6時30分頃出発。サロンバス利用（往復）
お申し込み方法⇒メール又はFAXでご連絡下さい。
メール：meji-1@mail.goo.ne.jp
FAX：03-3950-1452
〆切り 7/10
別途、案内状及び申し込み書を送らせて頂きます。

クイズ応募・ご意見・広告・お店探訪の申し込みは
メールアドレス meji-1@mail.goo.ne.jp
携帯電話からはQRコードを
読み込んで下さい。（メール）